

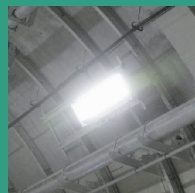
安全・安心な山手トンネル

● 最新の防災安全設備が、24時間体制でトンネル内を見守っています。



⑨排煙口(排気口)

トンネルを昼間のように照らす光



①照明設備

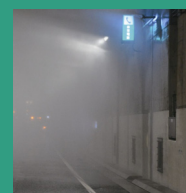


プロビーム照明

すばやく火災を食い止める「装置」



③火災検知器

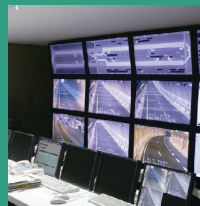


④水噴霧設備

24時間体制でドライバーを見守る「目」



②テレビカメラ



交通管制室

ドライバーがカンタンに利用できる「非常設備」



⑤非常電話



⑥非常口



⑦消火器・泡消火栓・
押ボタン式通報装置

首都高独特の「防災設備」

災害が発生したことをトンネル入口に設置された坑口フラッシング、信号機、警報板で知らせるとともに、山手トンネル専属のバイク隊が遮断機を操作し、確実に車両の進入を防ぎます。また、お客様に情報を伝える拡声放送スピーカーには、声を聞き取りやすくするために時間遅延技術も採用しています。



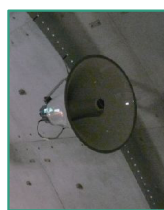
坑口フラッシング



信号機・遮断機



バイク隊と
パトロールカー



⑧拡声放送スピーカー

スピーディーに届けられる「災害情報」



ラジオ再放送設備



トンネル警報板

- テレビカメラ、非常電話、パトロールカー、バイク隊等からの情報をもとに、事故、火災などの状況を判断します。その判断に基づき、警察、消防などへの要請、パトロールカー、バイク隊の出動、関係機関への通知などを行います。

交通管制室



■交通事故を即時に見つけます。



画像処理による交通異常事象検出システムの導入により、「停止車両」、「低速車両」などを自動的に検出し、より早期の対応が可能になります。

連携

パトロールカー



バイク隊



- 大橋ジャンクションの内部では、ドライバーの皆さまが走行しやすいようにさまざまな走行支援対策を行っています。
- 例えば、分岐部において目的の路線へ体感的に誘導するための路面の色分けや、急カーブを走りやすくする視線誘導灯など。ドライビングシミュレータを使った実験結果をもとに、見やすく、分かりやすい路面標示や照明設備を採用しています。
- また、西新宿ジャンクションの分岐部においても、路面の色分けを実施します。

2回転ループをもっと走りやすく。
～さまざまな走行支援対策～



色分けされた路面で、
行き先も分かりやすい！

視認性を高める照明設備
(Hf蛍光灯+プロビーム照明)

色分けされた方面標示看板



急カーブ対策の視線誘導灯
及びカーブ警戒ゼブラ板

進行方向別に色分けされ
滑り止め舗装された路面